

み～も通信

春号

2010.3
VOL.20



LOVE

水と緑の森づくりの取り組みにあたって

～第2期対策がはじまります～



みなさん、こんにちは。島根県知事の溝口善兵衛です。

私は、清流高津川のある益田市出身で、子どもの頃はよく高津川で遊びました。学生時代には友人と鮎かけをしたり、子どもが小さい頃は横田口付近まで泳ぎに連れて行きました。

高津川流域では、上流にある森林を利用して木材や木炭の生産が盛んに行われてきました。木を伐った跡は植林をし、あるいは芽を育て、その木が大きくなったらまた伐って、その後はまた木を育てるというサイクルがきちんと守られてきました。これは、高津川に限ったことではなく、島根県内ではどこでも行われてきたことでした。

こうして守られてきた森林でしたが、木材価格の低下により森林を整備しようとする意欲が減退し、また過疎化や高齢化の進展などにより担い手が不足して森林の荒廃が進んでいます。森林率全国3位の森に囲まれている島根県では、森の状態が私たちの暮らしに大きな影響を与えています。

そこで島根県では、荒廃した森林を再生し、水を育む緑豊かな森を次の世代に引き継ぐため、平成17年度から「水と緑の森づくり税」をスタートさせ、平成21年度で5年が経過しました。

この間、多くの県民の皆様のご理解とご協力をいただき、延べおよそ6万人が参加する森づくりが県内各地で進められるとともに、3,500haを超える荒廃森林を再生させることができました。

皆様の森づくりに対する熱意と行動力に心から敬意と感謝の意を表します。

このたび、豊かなしまねの森づくりの輪をますます大きく広げようと、平成22年度から5年間、森づくりの取り組みをさらに継続させていただきますことといたしました。

今回は、荒廃した奥山の整備だけではなく、身近な里山の整備などを通して、緑の景観整備も進めていきたいと考えております。

より多くの皆様に森づくりに参加していただけるよう、いろいろな工夫をしてお待ちしておりますので、是非、しまねの森づくりにご参加ください。

平成22年度 水と緑の森づくり事業

I 県民参加の森づくり

みーもの森づくり事業

(旧森づくり・資源活用実践事業)

予算額：3千477万5千円

新しく行う対策

- (1) 里山や観光地などの景観対策を助成の対象としました
- (2) 継続したボランティア活動を支援します

県民自らが企画・立案した取り組みを支援します。事業の採択は、県民7名からなる「水と緑の森づくり会議」での意見を参考に、県が決定します。



水と緑の森づくり会議

事業内容

① 実行型 (自分で森づくりをする、木を利用した取り組みをする)

県民自らが企画・立案・実行する取り組みを支援します。森林公園や自然公園周辺の森林を整備する取り組みも対象とします。より多くの提案をいただけるよう一部制度の見直しをしました。



② 委託型 (ボランティア団体などに森づくりなどを依頼する)

- ・県民自らが企画・立案し、他者に委託する取り組みを支援します。
- ・何とか森づくりがしたいけど、労力などがいないためできない取り組みなどで、「地域が進める身近な森の整備事業」です。
- ・里山や観光地周辺の景観対策、利用者の多い公共交通機関などが取り組む木製ベンチなどの設置などを対象とします。

③ 継続支援型

2年目以降の活動を継続支援します(実行型事業に限る)。

森づくり・資源活用実践事業(H17-21)に取り組んだ団体も対象です。



森づくり推進事業

予算額：1千722万8千円

新しく行う対策

- (1) 島根県森林インストラクターを養成します
- (2) みーもスクールを開校します
- (3) 平成22年12月12日に普及啓発イベントを開催します

島根県森林インストラクター養成を5年ぶりに復活させ、県民の皆様の森づくりの応援体制を整えます。



みーもスクールを県内3校で開校し、子どもたちへ森林の大切さを教えるなどします。



平成22年12月12日(日)にみーもフェスタ(祭り)を開催します。水と緑の森づくりをもっとPRします。



II 緑豊かな森の再生

再生の森事業

(旧県民再生の森事業)

予算額：1億4千727万1千円

新しく行う対策

- (1) 竹林の伐採ができるようになりました
- (2) 松くい虫被害にあい、放置された森林の再生ができるようになりました



繁茂し景観を損なっている竹林(大田市)

今後行う対策

- (1) 人工林での不要木の伐採と広葉樹の植栽など
- (2) 侵入竹林の伐採
- (3) 管理道の開設



これまで行ってきた不要木の伐採と、広葉樹の植栽などによる荒廃した森林の再生は、引き続き行います。



不要木の伐採を行い、再生した森林

水と緑の森づくり委員の声

平成20年4月から平成22年3月まで2期2年にわたり、島根県の水と緑の森づくりを支えてくださった委員の皆様から、水と緑の森づくりに対する思いや期待をお聞きました。2年の間に、森づくり・資源活用実践事業を43件審査していただくと共に、積極的に現地にも出かけていただき、島根の森の現状と対策について意見を交わしました。また、水と緑の森づくり税更新にあたっては、新たな対策の検討や意見交換会への参加など島根県の水と緑の森づくりのために全力で職責を全うしていただきました。



浅浦委員

森づくりを応援していきたい

昨年の夏、ブナ林に子どもたちと観察に行った時の森の涼しさと気持ちよさが思い出されます。様々な表情を見せてくれる森や木々たちは、私にいろんなものを伝えてくれることを改めて感じています。この2年間を通して水森会議だけではなく、植樹などの活動に加わることで楽しい思い出を作ることができました。森を取り巻く環境はまだまだ厳しいですが、「LOVE GREEN WATER」みーもくんと一緒に応援していきたいと思っています。



行動こそ水と緑を守り育てる

今、地域の森林の荒廃が進んでいる事は、誰もが実感していると思います。これを少しでも改善しようという住民の願いにより、少しずつですが森林の改善が進められています。道を車で走ると間伐や除伐を進めたい森林、そして蔓などの繁茂により森林の様相が昔と変わってきています。地域を上げて森林を育てる方策を進めなければならないと思います。私たちの行動こそが水と緑を守り育てると考えています。



魚田委員

島根の木を使って森を守ろう

水森会議の現地検討会で、初めてチェーンソーを持って木を伐った時、「これは大変な仕事だ」と感じました。森林組合などの作業員さんが、毎日このような仕事をしていることは、尊敬に値します。水森事業では、プロフェッショナルの方が荒廃した森林を再生させる一方で、県民の皆さんがそれぞれ思い思いの森づくりを進めています。いろいろな森づくりが進んでいくことに「わくわく」する思いです。これからも「森林」に少しでも目を向けて、できることから森を守る取り組みを始めたいと思います。まずは、島根の木を使うことですかね？

森林整備の必要性和重要性を痛感

私が水森委員に応募したのは、薪ストーブとの出会いでした。省エネとCO₂削減のために自宅に設置した薪ストーブの燃料用薪の調達を通して、森林の整備に関心を持ったのがきっかけでした。水森事業の様々な案件に携わって、ますます森林整備の必要性和重要性を痛感しています。今後は特に「県民再生の森事業」に尽力していただきたいと思います。この事業により、エネルギー問題と環境問題が一体的に解決できるのではないかと信じています。



川本委員

立派な森林にして欲しい

私が水森委員になって早くも2年が経ちました。水森事業は応募する人によって様々な取り組みがなされてきました。石見銀山周辺の森林整備やロッジ周りの森林整備など、いろいろとありました。私としては、まだまだ使い道はたくさんあると思います。国道沿いの森林だけではなくて、一歩山へ足を踏み入れば手付かずの森林はたくさんあります。そういう所で水森税を使って公募事業を行ってほしいと思います。これから応募する皆さん、今年から5年間延長になりましたので、十分に活用して立派な森林にしてください。



天川委員



上瀬口委員



里山づくりから始めたい

私は、中山間地での生活ですが、水森税という言葉は全く存じませんでした。思いもよらず水森委員の大役をいただき、様々な水森事業に関する事で、県民の皆様の積極的な活動を知ることができました。水森会議では森林の大切さを一層痛感した次第です。この経験を仕事や地域に活かし、大人も子どもも参加できる里山作りから始めたいと思っています。最後に推薦していただいた中小企業団体中央会の皆様や平日快く参加させていただいた勤務先役員様のご理解にありがたく感謝しております。



駒川委員



坂本委員

まず、自らが実践

水森委員になり、意欲ある人たちの活動を知り励みになり、じっとしておられず我が家の山を整備し始めました。間伐、枝打ちで山は明るくなり、竹を切った山には地区の人たちと一緒にモミジや桜を植栽しました。今は続きの山を近所の人がやり始めました。きれいな山には毎日でも行きたくなります。まず、自らが実践しまわりの人を巻き込み、水森税も活用して山の荒廃を防ぐ活動の輪を広げていきたいと思います。将来は「山の美しい地域」となることを夢見ています。

しまねの森林を元気に

間伐されてすっきりとした林の前に「水森事業」の看板を見ると、なんだか心が和みます。そして県民の皆様にもそう感じていただけるようにしなければと思うのです。昨年実施された県民との意見交換会や水森税に関するアンケート調査から、県民の皆様の「島根の森に元気になってもらいたい」という思いが伝わってきます。水森委員として会議に参加し、水森税がどのように使われているかを意識するようになりました。これからも島根の森を元気に豊かにするために税金が有効に使われるよう、関心を持って見守りたいと思います。



中田委員



響委員

多くの県民が参加することを望む

水森委員として色々な部門の方々と勉強させていただきました。そこで一番感じたのは、1,000人アンケート調査の結果や、昨年開催された県民意見交換会での熱心な議論等に見られるように、水森事業に対する県民の関心が高まっていることです。現地視察では手入れの大切さを感じ、公募事業でも多様な活動が多くの方々の協力で実施され、着実に成果を上げていると思います。今後でも多くの恵みをもたらす森を健全にするために、多くの方が水森事業に参加される様望みます。

県民パワーの集結を

水森委員として、公募事業について審議をさせていただき、多くの方々の熱意とアイデアを他の委員さんと討論したことにより、自分自身の森を見る目の変化を自覚しました。道路脇に設置された水森事業の看板周辺では、松枯木の姿を見ることも少なくなり、緑が回復して美しい森を見ることができるようになりました。一人でも多くの人に森の重要性を理解していただき、美しい森の再生に必要な自然の回復力に力添えできる県民パワーの結集にむけ今後も尽力したいと考えています。



細田委員

ANAの森づくり 私の青空 萩・石見空港 高津川清流の森



左から藤岡自治会長、福原益田市長、松尾県副知事、森ANA 副社長、山根高津川森林組合長、銭本財産管理会長

全日本空輸株式会社（以下「ANA」と略記）が全国各地で行っている森林保全活動「私の青空 森づくり」が、萩・石見空港近くの森林で行われることになりました。

この活動を支援するため、平成22年2月8日(月)に今後3年間にわたる保全活動に係る協定の調印式を行いました。

調印式では、ANAの森本副社長、森林所有者である戸田共有財産管理会の銭本会長らが華やかな雰囲気の中、調印を行いました。

ANAが行う森づくり

今後の活動の内容

○活動面積 0.61ha

「私の青空 萩・石見空港高津川清流の森」で松くい虫への抵抗性を持ったマツを3年間で1,525本植栽します。

植栽活動は平成23年3月に行う予定です。

日常の管理は、高津川森林組合へ委託します。



実施済み

企業参加の森づくりに取り組む 企業を募集しています。

お問い合わせは ☎ 0852-22-6003
ringyo@pref.shimane.lg.jp

アンケート

「水と緑の森づくり」に関するアンケート実施中！下記発行元がメールアドレスへお送りください。

【質問】該当の番号をお答えください。

①この情報誌「み〜も通信」をどこでご覧になりましたか？

1. 市町村役場 2. 自治会回覧 3. 銀行 4. 図書館 5. スーパー 6. 公民館
7. 博物館・美術館 8. 駅 9. JA 10. 美容院 11. その他（ ）

②あなたは「水と緑の森づくり税」について知っていましたか？

1. 知っていた 2. 知らなかった

③「水と緑の森づくり税」についてご意見をお聞かせください

●郵便の場合 〒690-8501 島根県松江市殿町1 林業課水と緑の森づくりスタッフ

●電子メール ringyo@pref.shimane.lg.jp

●応募期限：平成22年5月31日(月) ●当選発表：景品の発送をもってかえさせていただきます。

●応募資格：島根県内在住者（ただし過去に当選された方は対象外）

*いただいた個人情報は、抽選及び発送用並びに「水と緑の森づくり」の業務用(内部検討)以外には使用せず、適正に管理いたします。



アンケート調査に答えていただいた方の中から、期間中抽選で30名様に「み〜もくんグッズ」(み〜もくんケータイクリーナー×1、み〜もくんクリアファイル×1)をプレゼント。はがき又は電子メールで質問に対する回答とお名前、住所をご記入の上次にお送りください。

み〜も通信
水と緑の森づくり情報誌

春号
2010.3
Vol.20

●発行：島根県農林水産部林業課 水と緑の森づくりスタッフ
〒690-8501 松江市殿町1番地 TEL0852-22-5170 FAX0852-26-2144
E-mail: ringyo@pref.shimane.lg.jp
http://www.pref.shimane.lg.jp/ringyo/mizumori/

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています

PRINTED WITH
SOYINK
環境にやさしい大豆インキを使用しています